

令和元年度 事業報告書および決算報告書

自 平成31年1月1日
至 令和元年12月31日

公益財団法人 河北文化事業団

1. 事業の報告

1. 主催事業

(イ) 第68回（平成30年度）河北文化賞の贈呈

東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な業績を上げた個人、団体に贈る第68回河北文化賞は、東北6県から推挙を受けた計29件の中から個人5件の授賞を決定した。贈呈式は平成31年1月17日、仙台市の仙台国際ホテル「平成の間」で、東北各県各界の代表約350名の列席を得て行った。

※河北文化賞贈呈式に当たり、河北文化賞の意義や目的を広報するため、これまでの受賞者を紹介した冊子を刊行した。

●受賞者と業績は次の通り。

「がん対策の発展と公衆衛生の向上に寄与した功績」

宮城県対がん協会会長 久道 茂

「東北の研究施設として最先端の研究成果を上げ、地域産業の活性化に寄与」

慶応義塾大学先端生命科学研究科所長 富田 勝

「多年にわたり東北合唱界の発展向上に寄与」

宮城県合唱連盟理事長 今井 邦男

「膜材料「クレースト」の開発とその工業化による東北への貢献」

産業技術総合研究所化学プロセス研究部門首席研究員 蛭名 武雄

「独自の地域産学官連携スタイルの構築と実践による地域産業への貢献」

東北大学大学院工学研究科教授 堀切川一男

贈呈式では、一力雅彦理事長が受賞者の業績を紹介、鈴木紳一常務理事が審査経過を報告、一力理事長が受賞者に本賞の賞牌と副賞の金一封を贈った。各受賞者のあいさつの後、受賞者でもある慶応義塾大学先端生命科学研究科所長 富田勝氏が「脱優等生が創るニッポンの未来」と題して記念講演を行った。引き続き茶話会に移り、各推挙者から受賞者それぞれの人柄や業績の紹介があり、盛会のうちに幕を閉じた。

(ロ) 第82回河北美術展の開催

河北新報社との共催で、第82回河北美術展を4月25日から5月7日まで、今回より仙台市の藤崎本館7階催事場とTFUギャラリーミニモリの2会場で開催した。

わが国最大級の地方公募展として歴史、規模を誇る同展は、東北における美術文化の向上に大きな役割を果たしており、中央画壇にも数多くの人材を輩出している。今回は、日本画、洋画、彫刻の3部門に、東北6県はもとより全国各地から790点（前回834点）の作品が寄せられた。展覧会には、厳しい審査で選ばれた入賞・入選435点、さらに審査員、参与、顧問、招待作家の作品65点の計500点が展示され、連日多くの美術ファンでにぎわった。

最高賞の河北賞は、日本画＝源由華（山形市）、洋画＝高田啓介（二戸市）、彫刻＝竹本悠太郎（新潟県上越市）の各氏。文部科学大臣賞は、洋画＝西脇正彦（石巻市）が受賞した。審査は、日本画＝橋本弘安（日展）、宮廻正明（日本美術院）、洋画＝佐藤哲（日展）、藪野健（二紀会）、池口史子（立軌会）、彫刻＝木戸修（無所属）の各氏が行った。本展終了後、栗原市、大崎市、利府町で巡回展を開催、好評を博した。

(ハ) 若鷲旗争奪第48回東北中学校野球大会 兼 第41回全国中学校軟式野球大会東北予選会の開催

東北中学校体育連盟、東北軟式野球連盟、秋田県教育委員会、秋田市教育委員会との共催で、第48回東北中学校野球大会 兼 第41回全国中学校軟式野球大会の東北予選会と兼ねて8月8日から10日まで、秋田市のこまちスタジアムと八橋球場を会場に開催した。

東北各県から五所川原一、浪岡（青森）世田米・有住、盛岡河南（岩手）しらかし台、秀光中教校（宮城）秋田北、仙北（秋田）鶴岡一、長井南（山形）西郷一、喜多方二（福島）の計12チームが出場、熱戦を繰り広げ、秀光中教校が6回連続7回目の優勝を飾り、若鷲旗を手にした。

(ニ) 第66回河北書道展の開催

河北新報社との共催で、第66回河北書道展を9月1日から8日まで、仙台駅東口のTFUギャラリーミニモリで開催した。東北各県から会友、一般合わせて925点（前回955点）の応募があった。

加納鳴鳳審査委員長以下の審査員が厳正かつ慎重な審査を行った結果、入賞・特選・準特選・入選813点が決まった。河北賞は、第1部＝軽部奏月（仙台市）、第2部＝齋藤瞳（仙台市）、第3部＝武者友紀（宮城・色麻町）、第4部＝吐生宗彌（気仙沼市）、第5部＝吉田活実（仙台市）、第6部＝小野寺千寿華（大崎市）、第7部＝伊藤里祥（宮城・大河原町）の各氏が受賞した。

展覧会には、入賞、入選作品と役職者の作品を合わせた1,003点を展示、訪れる書道ファンを楽しませた。本展終了後、大崎市で巡回展を開催した。

(ホ) 第63回全東北ピアノコンクールの開催

東北放送、東北放送文化事業団との共催で、第63回全東北ピアノコンクール本選会を6月16日、仙台市の宮城野区文化センターで開催した。今回は東北6県にゆかりの27人が参加、うち予選を通過した8人が本選に出場。審査の結果、会社員の渡邊灯人さん（青森県出身）が第1位に輝き、文部科学大臣賞を受賞した。

同コンクールは、東北の音楽文化の振興と若手演奏家を育成しようと昭和32年に創設。以来、多くの優れたピアニストを中央楽壇に送り出すなど、大きな成果を上げている。

(ヘ) 第28回河北工芸展の開催

河北新報社、宮城県文化振興財団との共催で、第28回河北工芸展を11月7日から12日まで、仙台市のTFUギャラリーミニモリで開催した。

同展は東北の工芸美術の振興と発展を目的に、平成4年に創設。東北をはじめ全国各地から222点（前回217点）の応募があった。伊藤赤水（日本工芸会）、春山文典（現代工芸美術家協会）、内藤英治（日本新工芸家連盟）の3氏が審査に当たり、入賞・入選160点を選んだ。

最高賞の河北賞は、陶磁の鈴木由香（登米市）さんが受賞。展覧会場には、入賞、入選作に審査員、参与、顧問、招待作家の作品を加えた193点が展示され、連日多くの工芸ファンが詰め掛けた。

2. 協力事業

宮城県芸術協会、河北新報社などが主催する第56回宮城県芸術祭に協力、優秀な成績を収めた12人に本団から奨励賞を交付した。

受賞者は、書道部＝岩崎邦彦、長谷川青澄、庄司清香、小元雅香、佐々木青霞、天野白扇、写真部＝青木威世男、庄司多賀雄、絵画部＝簡野寛山、大竹幸子、大西ちい子、文芸部＝島文庫の各氏。

2. 庶務・管理

1. 理事・監事に関する事項

- (1) 平成31年2月19日開催の定時評議員会において、任期満了に伴う再任の理事、監事の選任と、新任理事選任の決議が行われ、再任理事8名、再任監事2名と新任理事1名が下記のとおり選出された。

任期は令和3年定時評議員会終結の時まで。

理事 再任 一力雅彦、鈴木紳一、大野英男、藤本 章、里見 進、坂井 究、
松澤伸介、大場尚文

監事 再任 鈴木 隆、小野木克之

理事 新任 氏家 悟

理事 退任 中里博司

- (2) 平成31年3月4日開催の臨時理事会において、理事長および常務理事の選定を行い、下記2名が選出された。

代表理事（理事長） 一力雅彦

常務理事 鈴木紳一

2. 評議員に関する事項

- (1) 令和元年8月22日開催の臨時評議員会において、評議員退任に伴う選任が行われ、下記4名が新評議員として選出された。

評議員 新任 平川 新、河端章好、宮原賢一、井上浩二

評議員 退任 有川幾夫、鈴木隆一、西川善久、長瀬直之

- (2) 令和元年12月12日開催の臨時評議員会において、評議員退任に伴う選任が行われ、下記1名が新評議員として選出された。

評議員 新任 向田吉広

評議員 退任 宇部文雄

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

第1回通常理事会（平成31年2月5日、仙台国際ホテル）

議 事 事 項	結 果
1. 平成30年度事業報告書案承認の件 2. 平成30年度決算報告書案承認の件 3. 定時評議員会の日程及び場所並びに目的である 事項等の件 4. 理事、監事選任の件	原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決
報告 1. 理事長、常務理事の職務執行状況の件	原案通り満場一致で承認可決

第1回臨時理事会（平成31年3月4日）

議 事 事 項	結 果
1. 一力雅彦理事を理事長に選定する件 2. 鈴木紳一理事を常務理事に選定する件	理事全員の同意書により可決 理事全員の同意書により可決

第2回臨時理事会（令和元年8月5日）

議 事 事 項	結 果
1. 評議員の退任に伴う補欠選任候補者推薦の件 2. 令和元年度第1回臨時評議員会開催の件	理事全員の同意書により可決 理事全員の同意書により可決

第2回通常理事会（令和元年12月3日、河北新報社役員会議室）

議 事 事 項	結 果
1. 第69回（令和元年度）河北文化賞授賞候補者 （団体）承認の件	原案通り満場一致で承認可決
2. 令和2年度事業計画書案承認の件	原案通り満場一致で承認可決
3. 令和2年度収支予算書案承認の件	原案通り満場一致で承認可決
4. 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者推薦の件	原案通り満場一致で承認可決
5. 令和元年度第2回臨時評議員会開催の件	原案通り満場一致で承認可決
報告 1. 理事長、常務理事の職務執行状況の件	

(2) 評議員会

第1回定時評議員会（平成31年2月19日、仙台国際ホテル）

議 事 事 項	結 果
1. 議事録署名人の選出 2. 平成30年度事業報告書案承認の件 3. 平成30年度決算報告書案承認の件 4. 理事、監事選任の件	原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決 原案通り満場一致で承認可決

第1回臨時評議員会（令和元年8月22日）

議 事 事 項	結 果
1. 評議員4名退任に伴う補欠選任の件	評議員全員の同意書により可決

第2回臨時評議員会（令和元年12月12日）

議 事 事 項	結 果
1. 評議員1名退任に伴う補欠選任の件	評議員全員の同意書により可決

(3) 委員会

①河北文化賞事前審査小委員会

（令和元年11月15日、河北新報社3階第3会議室）

…第69回（令和元年度）河北文化賞受賞候補者の選考

②河北文化賞 審査委員会

（令和元年12月3日、河北新報社役員会議室）

…第69回（令和元年度）河北文化賞受賞者の最終選考

3. 決算の報告

貸借対照表

(令和元年12月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,018,446	1,046,481	2,971,965
現金	22,720	30,906	△ 8,186
普通預金	3,565,726	565,575	3,000,151
定期預金	300,000	300,000	0
未収金	130,000	150,000	△ 20,000
流動資産合計	4,018,446	1,046,481	2,971,965
2. 固定資産			
(1)基本財産			
有価証券	59,400,000	59,455,541	△ 55,541
定期預金	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	70,400,000	70,455,541	△ 55,541
(2)特定資産			
河北文化賞基金	6,400,000	12,400,000	△ 6,000,000
事業拡大準備金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	10,400,000	16,400,000	△ 6,000,000
(3)その他の固定資産			
什器備品	600,000	600,000	0
ソフトウェア	229,500	0	229,500
その他固定資産合計	829,500	600,000	229,500
固定資産合計	81,629,500	87,455,541	△ 5,826,041
資産合計	85,647,946	88,502,022	△ 2,854,076
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	88,170	△ 88,170
預り金	0	24,085	△ 24,085
流動負債合計	0	112,255	△ 112,255
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	112,255	△ 112,255
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	70,400,000	70,455,541	△ 55,541
指定正味財産合計	70,400,000	70,455,541	△ 55,541
(うち基本財産への充当額)	(70,400,000)	(70,455,541)	(△ 55,541)
2. 一般正味財産	15,247,946	17,934,226	△ 2,686,280
(うち特定資産への充当額)	(10,400,000)	(16,400,000)	(△ 6,000,000)
正味財産合計	85,647,946	88,389,767	△ 2,741,821
負債及び正味財産合計	85,647,946	88,502,022	△ 2,854,076

正味財産増減計算書

(平成31年1月1日から令和元年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,171,079	1,255,388	△ 84,309	
基本財産受取利息	727,079	721,388	5,691	
基本財産受取配当金	444,000	534,000	△ 90,000	
② 特定資産運用益	1,061	1,875	△ 814	
運用財産受取利息	1,061	1,875	△ 814	
③ 受取負担金	6,700,000	6,700,000	0	
④ 受取寄付金	0	0	0	
⑤ 雑収益	163,644	30,441	133,203	
経常収益計	8,035,784	7,987,704	48,080	
(2) 経常費用				
① 事業費支出	9,828,250	9,610,167	218,083	
河北文化賞受賞費	5,487,404	5,407,916	79,488	
河北文化賞会場費	1,749,286	1,751,446	△ 2,160	
河北文化賞旅費交通費	224,000	262,150	△ 38,150	
河北文化賞印刷費	362,237	378,337	△ 16,100	
河北文化賞諸経費	471,563	404,542	67,021	
主催後援費	1,454,560	1,328,016	126,544	
協力費	79,200	77,760	1,440	
② 管理費支出	893,814	801,072	92,742	
給与手当	272,440	216,466	55,974	
会議費	113,346	92,988	20,358	
旅費交通費	65,000	87,000	△ 22,000	
通信運搬費	13,020	12,960	60	
減価償却費	40,500	0	40,500	
印刷製本費	97,880	97,200	680	
雑費	291,628	294,458	△ 2,830	
経常費用計	10,722,064	10,411,239	310,825	
当期経常増減額	△ 2,686,280	△ 2,423,535	△ 262,745	
2. 経常外増減の部	0	0	0	
(1) 経常外収益				
什器備品受贈収入	0	600,000	△ 600,000	
河北文化賞基金取崩収入	6,000,000	0	6,000,000	
経常外収益計	6,000,000	600,000	5,400,000	
(2) 経常外費用				
河北文化賞基金取崩支出	6,000,000	0	6,000,000	
経常外費用計	6,000,000	0	6,000,000	
当期経常外増減額	0	600,000	△ 600,000	
当期一般正味財産増減額	△ 2,686,280	△ 1,823,535	△ 862,745	
一般正味財産期首残高	17,934,226	19,757,761	△ 1,823,535	
一般正味財産期末残高	15,247,946	17,934,226	△ 2,686,280	
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益	△ 55,541	△ 55,541	0	
基本財産受取利息	△ 55,541	△ 55,541	0	
当期指定正味財産増減額	△ 55,541	△ 55,541	0	
指定正味財産期首残高	70,455,541	70,511,082	△ 55,541	
指定正味財産期末残高	70,400,000	70,455,541	△ 55,541	
III 正味財産期末残高	85,647,946	88,389,767	△ 2,741,821	

正味財産増減計算書内訳表

(平成31年1月1日から令和元年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			公益目的 事業会計	法人会計	合 計
	公 1 (河北文化賞事業)	公 2 (主催共催協力事業)	共 通			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	0	0	1,171,079	1,171,079	0	1,171,079
基本財産受取利息	0	0	727,079	727,079	0	727,079
基本財産受取配当金	0	0	444,000	444,000	0	444,000
② 特定資産運用益	1,036	0	0	1,036	25	1,061
運用財産受取利息	1,036	0	0	1,036	25	1,061
③ 受取負担金	5,000,000	0	0	5,000,000	1,700,000	6,700,000
④ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0
⑤ 雑収益	0	130,000	0	130,000	33,644	163,644
経常収益計	5,001,036	130,000	1,171,079	6,302,115	1,733,669	8,035,784
(2) 経常費用						
① 事業費支出	8,294,490	1,533,760	0	9,828,250	0	9,828,250
河北文化賞受賞費	5,487,404	0	0	5,487,404	0	5,487,404
河北文化賞会場費	1,749,286	0	0	1,749,286	0	1,749,286
河北文化賞旅費交通費	224,000	0	0	224,000	0	224,000
河北文化賞印刷費	362,237	0	0	362,237	0	362,237
河北文化賞諸経費	471,563	0	0	471,563	0	471,563
主催後援費	0	1,454,560	0	1,454,560	0	1,454,560
協力費	0	79,200	0	79,200	0	79,200
② 管理費支出				0	893,814	893,814
給与手当	0	0	0	0	272,440	272,440
会議費	0	0	0	0	113,346	113,346
旅費交通費	0	0	0	0	65,000	65,000
通信運搬費	0	0	0	0	13,020	13,020
減価償却費	0	0	0	0	40,500	40,500
印刷製本費	0	0	0	0	97,880	97,880
雑費	0	0	0	0	291,628	291,628
経常費用計	8,294,490	1,533,760	0	9,828,250	893,814	10,722,064
当期経常増減額	△ 3,293,454	△ 1,403,760	1,171,079	△ 3,526,135	839,855	△ 2,686,280
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
河北文化賞基金取崩収入	6,000,000	0	0	6,000,000	0	6,000,000
経常外収益計	6,000,000	0	0	6,000,000	0	6,000,000
(2) 経常外費用						
河北文化賞基金取崩支出	6,000,000	0	0	6,000,000	0	6,000,000
経常外費用計	6,000,000	0	0	6,000,000	0	6,000,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,293,454	1,253,760	△ 7,098,834	△ 2,551,620	2,551,620	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 150,000	△ 5,927,755	△ 6,077,755	3,391,475	△ 2,686,280
一般正味財産期首残高	0	150,000	17,784,226	17,934,226	0	17,934,226
一般正味財産期末残高	0	0	11,856,471	11,856,471	3,391,475	15,247,946
II 指定正味財産増減の部						
① 基本財産運用益				△ 55,541	0	△ 55,541
基本財産受取利息	0	0	△ 55,541	△ 55,541	0	△ 55,541
当期指定正味財産増減額	0	0	△ 55,541	△ 55,541	0	△ 55,541
指定正味財産期首残高	0	0	70,455,541	70,455,541	0	70,455,541
指定正味財産期末残高	0	0	70,400,000	70,400,000	0	70,400,000
III 正味財産期末残高	0	0	82,256,471	82,256,471	3,391,475	85,647,946

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

取得原価法

- (2) 固定資産の減価償却について

定額法(会計システムソフトウェア)

- (3) 引当金の計上基準について

なし

- (4) 資金の範囲について

資金の範囲には現金、預金及び信託、有価証券を含めている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	11,000,000	0	0	11,000,000
小 計	11,000,000	0	0	11,000,000
有価証券				
有価証券	59,455,541	0	55,541	59,400,000
小 計	59,455,541	0	55,541	59,400,000
合 計	70,455,541	0	55,541	70,400,000
特定資産				
河北文化賞基金	12,400,000	0	6,000,000	6,400,000
事業拡大準備金	4,000,000	0	0	4,000,000
合 計	16,400,000	0	0	10,400,000

財 産 目 録

(令和元年12月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額					
(流動資産)	現金預金								
	現金	手元保管	運転資金として	22,720					
	普通預金	七十七銀行本店	運転資金として	3,009,255					
		みずほ信託銀行仙台支店	運転資金として	278,863					
		三井住友信託銀行仙台支店	運転資金として	238,081					
		仙台銀行本店	運転資金として	39,527					
	定期預金	七十七銀行本店	運転資金として	300,000					
みずほ信託銀行仙台支店		運転資金として	0						
未収金			130,000						
流動資産合計				4,018,446					
(固定資産)	基本財産	有価証券	河北新報社株式 東北放送株式 大和証券利付国債	公益目的事業及び管理目的の財源として使用する資産である。	59,400,000				
						定期預金	みずほ信託銀行仙台支店	公益目的保有財産であり、運用益を公的事業共有の財源として使用している。	5,700,000
							三井住友信託銀行仙台支店		5,300,000
	特定資産	定期預金	七十七銀行本店	河北文化賞基金であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	4,400,000				
(河北文化賞基金)		仙台銀行本店	2,000,000						
(事業拡大準備金)		仙台銀行本店	事業拡大の準備金であり、運用益を公益目的事業の財源として使用する。	4,000,000					
その他の固定資産	什器備品	河北文化事業団内	鑑賞用としている。	600,000					
	会計システムソフトウェア	河北文化事業団内	河北文化事業団の会計処理に使用している。	229,500					
固定資産合計				81,629,500					
資産合計				85,647,946					
	預り金			0					
負債合計	未払金			0					
正味財産				85,647,946					

財産目録明細および保管証

(令和元年12月31日現在)

(基本財産)

(イ)定期預金

(単位：円)

銘 柄	数 量	契約年月日	償還月日
みずほ信託銀行	5,000,000	平成30- 3-30	令和 2- 3-30
	700,000	令和 1-12-30	令和 3-12-30
小 計	5,700,000		
三井住友信託銀行	5,000,000	平成30- 2-20	令和 5- 2-20
	300,000	平成31- 3- 5	令和 6- 3- 5
小 計	5,300,000		
合 計	11,000,000		

(ロ)有価証券

(単位：円)

銘 柄	数 量	券面額	配当率	取得年月日	金 額
河北新報社株式	5 4 0 株	10,000	6 %	昭和30-12-30	5,400,000
東北放送株式	6 0 0 株	5,000	7 %	昭和30- 9-30	3,000,000
利付国債	51,000,000	100.00 (100円当り)		自 令和1-11-19 至 令和28-6-20	51,000,000
合 計					59,400,000

上記(イ)通帳(ロ)株券は本団金庫に保管してあります。

(特定資産)

(ハ)定期預金

(単位：円)

銘 柄	数 量	預 入 日	期 間
七十七銀行	4,400,000	令和 1-10-30	3 カ月
仙 台 銀 行	2,000,000	平成 30- 3-24	24 カ月
仙 台 銀 行	4,000,000	平成 30- 3- 9	24 カ月
合 計	10,400,000		

上記(ハ)通帳は本団金庫に保管してあります。

(運用財産)

(ニ)定期預金

(単位：円)

銘 柄	数 量	預 入 日	期 間
七十七銀行	300,000	令和 1-10- 8	3 カ月
合 計	300,000		

上記(ニ)通帳は本団金庫に保管してあります。

(ホ)普通預金

(単位：円)

預 け 先	記帳番号	残 高
七十七銀行	*****	3,009,255
みずほ信託銀行	*****	278,863
三井住友信託銀行	*****	238,081
仙 台 銀 行	*****	39,527
合 計		3,565,726

上記(ホ)通帳は本団金庫に保管してあります。

(ヘ)現 金

(単位：円)

手 許 有 高	22,720
---------	--------

上記現金は本団金庫に保管してあります。

財 産 増 減 表

(単位：円)

科 目	残 高	増 減 額	事 由
現 金	令和元年度 22,720	△ 8,186	
	平成 30 年度 30,906		
普 通 預 金	令和元年度 3,565,726	3,000,151	
	平成 30 年度 565,575		
定 期 預 金	令和元年度 21,700,000	△ 6,000,000	
	平成 30 年度 27,700,000		
有 価 証 券	令和元年度 59,400,000	△ 55,541	
	平成 30 年度 59,455,541		
合 計	令和元年度 84,688,446	△ 3,063,576	
	平成 30 年度 87,752,022		